

会派 創生 繁昌 誠吾 議員

1 市政運営について

(1) 所信表明において「未来へ大きく羽ばたくまち!!かのや」の実現を目指し、努力していくと述べられた。鹿屋市の人口も10万人を割るところまで来ており、近隣の町は超高齢化・人口減少が著しい中、市長の目指す未来像を実現するために、どのような政策を実施していくのか、具体的な施策を示されたい。

また、将来的に、大隅はもとより肝属地域の合併や連携は避けられないと思うが、大隅のリーダーとしての見解を示されたい。

(2) 財政健全化について「行財政改革を積極的に進め、(中略)健全財政を堅持している」と述べられた。財政が厳しいと言われる中、これまで8年間でどのような行財政改革を実施してきたのか、具体的な施策を示されたい。

また、これからの4年間で、事務事業の見直しや施設の廃止など、行財政改革なしで財政は維持できないと考えるが、行財政改革推進室の再設置は考えられないか。

2 ふるさと納税について

(1) 昨年、実施したクラウドファンディング型ふるさと納税について、結果として目標に届かなかった。取組自体は理解しているが、事業の実施に一般財源を使うことになったことは残念である。結果をどのように評価しているか、見解を示されたい。

また、今後の取組について計画があれば示されたい。

(2) ふるさと納税については、市長就任後、毎年寄附金が増加している。寄附金については、本市での活用を選択しているが、寄附者の方々から「何に使っているのか」、市民からも「有効に活用してほしい」との声が届いている。基金の積立てには一定の理解はしているが、本市への想いや家族の暮らしに役立つ活用をしなければ、寄附者の想いに応えられないと思うが、今後の対応を示されたい。

## 会派 創生 繁昌 誠吾 議員

## 3 公共施設について

- (1) 公共施設については、市民交流センターの管理の在り方を検討するため、1年契約を結ぶとのことである。公共施設等総合管理計画によると、今後、施設やインフラの維持に毎年100億円の経費がかかると記載されている。個別の見直しではなく、特に公共施設については「公平性・必要性・効率性」を基本にして、検討すべきと考えるが、見解を示されたい。
- (2) 湯遊ランドに対して、「入湯料の安さ」を課題として述べている。民間の温泉施設が現状の金額でも採算が取れないとの声を聞いているが、公平性・効率性の観点から料金を見直す時期だと考えるが、見解を示されたい。  
また、今後の利用者数の減少や燃料等の高騰を見極めて、施設の在り方を検討すべきだと考えるが、見解を示されたい。

## 4 農業政策について

- (1) 本市は、スマート農業について積極的に取り組んでおり、農家においても農業にICTを取り入れることで、人員、経費の削減等、利点は多くあると考える。農業従事者、関連業者、行政、三位一体となって取り組んでいると思うが、問題点も多くあると聞く。行政としてどのような問題点があると思うか。  
また、解決に向け、どのような取組をされているか示されたい。
- (2) 畜産環境センターの操業停止まであと3年となり、センター利用農家の個別処理移行への準備も進んでいることと思う。  
このような中、今後の施設整備へ向けた課題等はないのか。あるとすればどのようなことがあるか。